

殺菌剤 芝用

インターフェース®

フロアブル

進化したストレスガード製剤
ダブルの力でしつこい病害をブロック

登録商標 第5549638号



ストレスガード製剤技術を採用 ローテーション散布に最適

特 長

- QoI 剤とイプロジオン（ロブラール）の混合剤（非DMI(EBI) 混合剤）
- しつこいダラースポット病に卓越した効果
- ストレスガード製剤であり、既に販売されている「シグネチャーWDG」、
「ミラージュフロアブル」と合わせて、プログラム散布をすることで、
夏場のグリーンを強力に守る
- 芝に対する高い安全性
- 使用しやすいフロアブル製剤

ストレスガード製剤技術とは？

ストレスガード製剤技術は、UVBを効果的に遮断しつつ光阻害を緩和する、Envuの独自技術です。この製剤技術を用いた殺菌剤を使用することにより、病害の防除はもちろん、芝のストレス軽減や色合いの向上など、ターフクオリティを向上させることが可能となります。

グリーンの健康を維持するためには予防散布が重要

インターフェースフロアブルで
しつこいダラースポット病を抑制

病気の発病率を抑えて
夏を乗り切る体力を維持

予防効果の最適化へ



ダラースポット病

病害発生が起因する芝の生理障害にも注意。
グリーンの体力を奪う夏の日差しは脅威

ストレス

過剰な熱や
太陽光線

ダウン

植物の光合成を
阻害、体力低下

ダメージ

植物の細胞が
損傷

高い効果を引き出す
薬剤ローテーションが
重要ポイントです

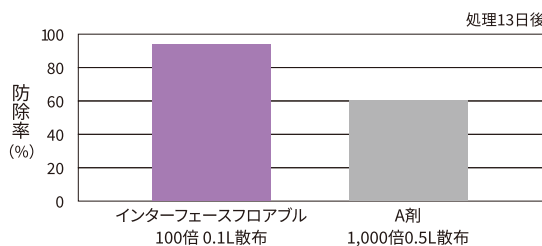
ダラースポット病に対する効果



インターフェースフロアブル



A剤



試験場所	関東地区Aゴルフ場(社内試験)
処理時期	ダラースポット病発病初期
処理年月日	2013年5月25日
調査年月日	2013年6月7日(13日後)
無処理発病率	10.0%

ベントグリーンに対する安全性

薬量	調査日		
	8月3日	8月20日	8月31日
①100倍 (1mL/m ²)	—	—	—
②250倍 (2mL/m ²)	—	—	—

評価方法:—(影響なし)

試験場所	関東地区Bゴルフ場
試験作物	ベントグリーン
処理年月日	2012年7月18日、8月3日
調査年月日	2012年8月3日、20日、31日
散布水量	①0.1L/m ² ②0.5L/m ²

殺菌剤 芝用

農林水産省登録 第23359号

Envuだけの製剤技術



ストレスガード製剤予防散布プログラム例データ

★ ストレスガード 製剤

散布時期	4月	5月		6月		7月	
	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
薬 剤 名	★ シグネチャー WDG (1)		★ ミラージュ (0.5)	★ シグネチャー WDG (1)	★ インター フェース (1)	★ シグネチャー WDG (1)	★ シグネチャー WDG (1)
	TPN剤		プロテクメート WDG (1)	TPN剤	TPN剤	TPN剤	TPN剤
	ピシウム剤A (Qii)						ピシウム剤 (ローバーフロアブル)

散布時期	8月			9月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
薬 剤 名	★ インター フェース (1)	★ シグネチャー WDG (1)	★ プロテクメート WDG (1)	★ シグネチャー WDG (1)	★ シグネチャー WDG (1)	★ プロテクメート WDG (1)
				TPN剤	TPN剤	TPN剤
	ピシウム剤C (テトラナリル オキシム)	ピシウム剤D (フェニルアミド)	ピシウム剤A (Qii)	ピシウム剤E (カーバメート)		

※()内の数字は薬量を表し、単位はmL/m²です。
 ※ストレスガード製剤及びプロテクメート WDGの散布
 水量は100mL/m²を想定しています。
 ※シグネチャー WDGとプロテクメート WDGの混用はで
 きません。
 ※複数の薬剤をタンクミックスする場合、投入の順番は
 ①展着剤→②液剤→③乳剤→④フロアブル剤→⑤水
 和剤です。
 ※初めてタンクミックスを行う組み合わせの場合、事前
 にバケツ等で混用試験を行うことをおすすめします。
 ※散布例はピシウム病の発生圧が高いケースを想定し
 ています。ピシウム剤については、地域・発生圧・気象
 条件等により適宜散布回数や時期を調節してくださ
 い。

プログラム散布の効果(根量比較)

試 験 場 所 茨城県Bゴルフ場(社内試験) 調 査 年 月 日 2013年9月6日



	全散布回数	内訳
1 慣行殺菌剤散布区(UVカット資材含む)	殺菌剤7回	UVカット資材6回
2 ストレスガードプログラム ★	殺菌剤7回	★シグネチャー5回(6月・1回、7月・2回、8月・2回) ★ミラージュ1回(6月)
3 ストレスガードプログラム ★ 新提案	殺菌剤7回	★シグネチャー5回(6月・1回、7月・2回、8月・2回) ★ミラージュ1回(6月) ★インターフェース1回(7月)

- ストレスガードを含むプログラム散布において(2、3)、夏越し後にベントグリーンの健全な根系が確認されました
- インターフェースを加えることにより(3)、さらに健全な根系の生育が確認されました

適用病害及び使用方法

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用方法	使用時期	本剤およびそれぞれの有効成分を含む 農薬の総使用回数
西洋芝 (ベントグラス)	ダラスポット病 炭疽病 葉腐病(ブラウンパッチ)	100倍	0.1L/m ² 散布	発病前～ 発病初期	本剤 6回以内 イプロジオン 8回以内 トリフロキシストロビン 6回以内
		250倍	0.5L/m ² 散布		

有効成分と性状

種類名	イプロジオン・トリフロキシストロビン水和剤
商品名	インターフェースフロアブル
有効成分	イプロジオン(化管法1種)…23.1% トリフロキシストロビン(化管法1種)…1.4%
性状	青緑色水和性粘稠懸濁液体
荷姿	1L×12本

人畜・魚介類に対する安全性(製剤)

人畜毒性 (急性) 普通物*	経口	ラット(♀)	LD ₅₀ 5,000mg/kg
	経皮	ラット(♂♀)	LD ₅₀ >5,000mg/kg
	皮膚刺激性	ウサギ	軽度刺激性あり
	眼刺激性	ウサギ	軽度刺激性あり
	皮膚感作性	モルモット	皮膚感作性なし
水産動植物に 対する影響	ニジマス		LC ₅₀ 1.47mg/L (96hr)
	オオミジンコ		EC ₅₀ 0.6mg/L (48hr)
	藻類		ErC ₅₀ 5.32mg/L (0-72hr)

*「毒物および劇物取締法」に基づく「毒劇物の指定を受けない物質を示す」

⚠ 効果・薬害等の注意

- 使用前に容器をよく振ってください。(分腫)
- いちご、なしに対して薬害を生じるおそれがあるので、付近にある場合はかからないように注意してください。
- 使用量、使用時期、使用方法を守ってください。特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

⚠ 安全使用上の注意事項

- 桑葉にはかからないようにしてください。(蚕毒)
- 誤飲などのないよう注意してください。
- 眼に入らないように注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗いし、眼科医の手当を受けてください。(刺激性)
- 皮ふに付着しないよう注意してください。皮ふに付着した場合は直ちに石けんでよく洗い落としてください。(弱い刺激性)
- 散布時は、農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖作業衣などを着用してください。

- 作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをして、衣服を換えてください。
- 作業時の衣服などは他と分けて洗濯してください。
- かぶれやすい人は取扱いに十分注意してください。
- 公園などで使用する場合、散布区域に縄囲いや立て札をたて、散布中および散布後(最小限その当日)に関係者以外は立ち入らせないようにしてください。小児、人畜等に留意してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製し、使い切ってください。空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。

水産動植物の被害防止等に関する注意事項

- 水産動植物(魚類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。

⚠ 貯蔵上の注意事項

- 直射日光を避け、食品と区別して冷涼な所に密栓して保管してください。

● 使用前にはラベルをよく読んでください。 ● ラベルの記載内容以外には使用しないでください。 ● 本剤は小児の手の届くところには置かないでください。



エンバイロサイエンスジャパン株式会社
〒100-0004
東京都千代田区大手町 1-6-1
www.jp.envu.com



お問い合わせ先